

かけがわの森から

掛川市森林組合通信

2022年春号 Vol.59



新しい木の使い方を、
提案できる仕事場として。

おかげさまで、新事務所の竣工から
5年を迎えることができました。
木の香りに包まれた職場環境は、
創造的な木の使い方を提案する
コミュニケーション・スペースでもあります。

1月31日の静岡新聞一面



乗せされ「森林環境税」の原資となる予定です。国産材の木造住宅、非住宅や都市空間の木質化、森林にアクセスするまでの道路インフラ整備、森林環境教育の実施などに助成できるように。森林が少ない都市部の納税者にも、森林しかない中山間地域の納税者にも、不公平感のない持続可能な循環共生社会の構築に寄与するように。意義と価値のある「森林環境税」になつて欲しいと思います。

1月31日の静岡新聞朝刊一面記事で「森林資金5割超未支出」と大きな見出しがドーンと目に飛び込んできた時、驚いたと同時に複雑な心境に陥りました。記事によると、森林環境譲与税が市区町村に配分されても使い道が無く、半分以上が基金に積立てられ、2020年度の市区町村別の配分額トップは横浜市で、3億195万3千円とのこと。横浜市は市面積の約6%（約2,500ha）の森林をもっています。一方、市面積の約43%（約11,300ha）の森林をもつ掛川市は、2020年度の配分額は2,600万円。森林面積が掛川の四分の一しかない横浜市に、掛川市の11倍以上の額が配分されているのは、約34倍の人口比からそうなるのでしょうか、不公平感を抱くのは私だけではないでしょう。

都市部の暮らしは、澄んだ空気、豊かな川・海、安全安心な食べ物、防災・減災機能、伝統・歴史・文化、自然環境教育やキャンプ・リクリエーションなど数えきれない森林の恩恵を享受し支えられているわけですから、森林面積が広く、その森林整備が必要な地域に配慮された制度変更が必要だと思います。真剣に脱炭素社会を目指していくのなら、従来の大量生産・大量消費・大量廃棄型の経済システムから脱却し、持続可能な循環型社会「地域循環共生圏」の構築を進めていくべきです。今、あらためて物の豊かさから心の豊かさへとパラダイムシフトが求められています。

2024年度からは、個人住民税に1人当たり年間1,000円が上乗せされ「森林環境税」の原資となる予定です。国産材の木造住宅、非住宅や都市空間の木質化、森林にアクセスするまでの道路インフラ整備、森林環境教育の実施などに助成できるように。森林が少ない都市部の納税者にも、森林しかない中山間地域の納税者にも、不公平感のない持続可能な循環共生社会の構築に寄与するように。意義と価値のある「森林環境税」になつて欲しいと思います。

榛村航一 組合長の 元気もりもり(森・森)通信 27

森林環境税の意義

これいい! 購買担当「リエさん」のオススメGOODS!!

新事務所竣工5周年記念特別セール

プロ用 刈刃なので
切れ味バツグン!!

●シマダ産業 山林 チップソー
(230mm・255mm)
通常価格¥1,100のところ
特別価格 **¥880** (税込)

日頃の感謝を込めて
20% OFF!!



山林

特殊ラクダ刃型

雑草・雑木・山林
下刈用

数量限定
200枚

おひとり様 5枚まで
数量限定ですので
お早めに!



組合員さまへのお願い

相続等で所有山林に異動が生じた際は
森林組合へご一報ください。



KAKEGAWA
Forest Owner's Cooperative

発行元

掛川市森林組合

〒436-0335 静岡県掛川市大和田320-1
TEL.0537-25-2111 FAX.0537-25-2113
<https://www.kakemori.jp>

